

びわの潮風害を軽減する水洗の効果						
<p>【要約】びわの潮風害による落葉は、被害後12時間以内に樹体に付着した塩分を水洗することで、被害を軽減できる。</p>						
果樹試験場・育種科	専門	農業災害	対象	果樹類	分類	普及
びわの潮風害被害解析調査(水洗による塩分除去)(平成4年度果樹試験場業務報告)						

【背景・ねらい】

1991年の台風17号、19号は潮風によって落葉等の大きな被害をもたらした。そこで、潮風害軽減の対策として、塩分が付着してから樹体の水洗までの時間と落葉を検討する。

【成果の内容・特徴】

- ①水洗の時期が早いほど、残葉率は高く、塩害の被害は軽減される。ことに12時間以内の水洗は軽減効果が高く、24時間後の水洗では軽減効果が低い。
- ②ポット植え4年生に、塩水を散布して、3ℓの水で水洗した場合、3時間後の水洗でも葉中の塩素含有量は高いことから、完全に塩を洗い流すためには、多量の水での水洗が必要である。

【成果の活用面・留意点】

散水には成木の場合、10a当たり2～3t程度の水量が必要である。ホース等で直接散水する。

[具体的データ]

第 1 表 水洗後の残葉率

処理区	残 葉 率 (%)				
	1 週間	2 週間	3 週間	4 週間	6 週間
塩水無散布	96.5	95.2	93.6	90.8	72.1
3 時間後水洗	95.4	86.3	75.6	71.2	57.9
6 時間後水洗	97.2	88.1	84.4	78.4	71.7
12時間後水洗	87.5	78.2	67.7	62.0	56.1
24時間後水洗	97.4	80.3	56.3	45.3	38.9
無水洗	89.7	65.1	38.4	31.9	27.1

第 2 表 水洗後の塩素含有量

処理区	水洗直前	水洗28日後		
	旧葉	新葉	旧葉	新しょう
(mg%)				
塩水無散布	—	32	53	36
3 時間後水洗	57	194	274	184
6 時間後水洗	58	191	340	137
12時間後水洗	78	187	269	155
24時間後水洗	81	330	472	366
無水洗	—	505	—	658

[その他]

研究課題名：びわの潮風害実態調査及び被害樹回復対策試験

予算区分：委託試験

研究期間：平成 4 年度（平成 4 年）

既発表論文等：びわの潮風害被害解析調査，長崎県果樹試験場業務報告，平成 4 年度

研究担当者：松下由紀子

残された問題点：水洗を行うための，水源の確保が必要である。